



613-000530 Rev.B 060929



最初にお読みください

# CentreCOM® FS900Mシリーズ リリースノート

この度は、CentreCOM FS900M シリーズ（CentreCOM FS909M/FS917M/FS926M/FS909M-PS/FS917M-PS。以下、特に記載がないかぎり、「本製品」と表記します）をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、取扱説明書（FS900Mシリーズ：613-000324 Rev.A FS900M-PSシリーズ：613-000341 Rev.A）とコマンドリファレンス（613-000325 Rev.A）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

## 1 ファームウェアバージョン 1.3.0

## 2 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.3.0 には、以下の制限事項があります。

### 2.1 CREATE SWITCH TRUNK コマンドのヘルプについて

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理 / システム」

CREATE SWITCH TRUNK コマンドのヘルプに「最大 4 グループまで作成可能です。」と表示されますが、正しくは以下のとおりです。

「FS909M (-PS)、FS917M (-PS) は最大 2 グループまで、FS926M は 10BASE-T/100BASE-TX ポートで 2 グループ+ギガビットポートで 1 グループの最大 3 グループまで作成可能。」

### 2.2 SNMP について

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理 / SNMP」

- MIB-II の以下のオブジェクトが正しくカウントアップされません。
  - ip グループ：ipInAddrErrors、ipInUnknownProtos、ipReasmTimeout、ipReasmFails、ipFragOKs、ipFragFails
  - icmp グループ：icmpOutEchos
  - tcp グループ：tcpActiveOpens、tcpPassiveOpens、tcpRetransSegs
  - snmp グループ：snmplnBadVersions、snmplnBadCommunityNames、snmplnBadCommunityUses、snmplnASNParseErrs、snmpOutNoSuchNames
- SNMP マネージャーのタイムアウトによって、同時に 3 個以上の SNMP マネージャーから ifEntry を Get できない場合があります。SNMP マネージャーのタイムアウト値を長く設定するようにしてください。
- SNMP マネージャーから、スパニングツリーポートの有効 / 無効を設定できません。

- SHOW SNMP コマンドの実行で表示される以下の項目が正しくカウントアップされません。  
inBadCommunityNames, inBadCommunityUses, outNoSuchNames, outBadValues, outGenErrs

---


## 2.3 ADD IP コマンドについて

 **「コマンドリファレンス」 / 「IP」**

ADD IP コマンドの IPADDRESS パラメーターに DHCP を指定して実行すると、不正なメッセージが表示される場合があります。これは表示だけの問題で動作には影響ありません（IP アドレスは正しく取得できます）。

---

## 2.4 QoS について

 **「コマンドリファレンス」 / 「QoS」**


- 3 段階以上の送信キューを使用する場合、ブロードキャスト、マルチキャスト、未学習ユニキャストパケットが正しく優先制御されません。
- 3 段階以上の送信キューを使用する場合、使用する送信キューの組み合わせによっては学習済みユニキャストパケットが正しく優先制御されない場合があります。
- SET QOS SCHEDULING コマンドで STRICT を指定して実行すると、以下のようなメッセージが表示されますが、スケジューリング方式にストリクトを指定した場合は、送信キュー 0 と 3 を使用した 2 段階の優先度設定のみをサポートしています。

Operation successful.

Queue 0-2 operates as Weighted Round-Robin.

---


## 2.5 ポートランキングと IGMP Snooping の併用について

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**

ポートランキングと IGMP Snooping は併用できません（トランクポートでは IGMP Snooping を使用できません）。

---


## 2.6 100M Half 固定設定時のメッセージについて

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**

通信モードが 100M Half 固定設定のポートとリンクしているときに、本製品のポートの通信モードをオートネゴシエーションから 100M Half 固定に変更すると、リンクダウンメッセージ、ログ、トラップが 2 回出力されます。

---


## 2.7 IGMP Snooping について

 **「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」**

Group-specific Membership Query メッセージが同一 VLAN 内にフラッディングされます。

---

## 2.8 802.1X 認証について

 「コマンドリファレンス」 / 「802.1X 認証」

- SET PORTAUTH PORT コマンドの SERVERTIMEOUT パラメーターに 31（秒）以上の値を指定すると、60（秒）を指定したときと同じ動作になります（60 秒でタイムアウトが発生します）。
- SHOW AUTHENTICATION コマンドの実行で表示される「Auth Req」と「Auth Resp」は、ユーザー認証が未サポートのためカウントアップされません（常に 0 で表示されます）。


---

## 3 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足

同梱の取扱説明書、および「CentreCOM FS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.3.0 (613-000325 Rev.A)」の補足事項です。

---


### 3.1 スタンドキット「AT-STND-J01」について

 「CentreCOM FS909M/FS917M/FS926M 取扱説明書」 15 ページ

取扱説明書に記載がありませんが、CentreCOM FS926M はスタンドキット「AT-STND-J01」に対応しています。

---


### 3.2 フォワーディングデータベースについて

 「コマンドリファレンス」 / 「フォワーディングデータベース」

宛先 MAC アドレスが 01-80-C2-00-00-00 から 01-80-C2-00-00-FF の場合、送信元 MAC アドレスが FDB に登録されません。

---

### 3.3 ポートセキュリティーについて

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」


- 本製品のポートセキュリティーは Dynamic Limited モードのみのサポートとなりますので、学習済みの MAC アドレスでもエージングによる削除が発生し、該当 MAC アドレスに対するポートセキュリティー設定の解除が生じます。
- ポートセキュリティーが有効なポートにはスタティックエントリを登録できません。「スイッチング」 / 「概要」 / 「ポートセキュリティー」に以下のコマンド例が記載されていますが、ポートセキュリティー有効ポートには使用できないコマンドですので、訂正してお詫びいたします。

```
ADD SWITCH FILTER DESTADDRESS=00-00-f4-ab-cd-ef PORT=10
```

```
DELETE SWITCH FILTER PORT=1 DESTADDRESS=00-00-f4-ab-cd-ef
```

---

### 3.4 IGMP Snooping について

 「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」

マルチキャストデータを高レートで受信しつづけると、IGMP パケットが転送されない場合があります。

## 4 未サポートコマンド (機能)

---

以下のコマンド (パラメーター) はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

```
SET HTTP SERVER PORT  
SHOW DEBUG
```